

# 図書館と県民のつどい埼玉2016

今年も、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。同時開催する《子ども読書活動交流集会》は、家庭・地域・学校・図書館で子どもの読書に関わる人たちの「つながり」と「学び」の場です。ふるってご参加ください。

平成28年12月18日(日) 10:00~16:00 北本市文化センター  
(JR 高崎線北本駅より徒歩10分)

記念講演 (10:00~11:45) [定員700] <要事前申込・抽選>

「それでもやっぱり小説は面白い！ 僕が好きなおきの本について語ろう」石田衣良氏 (作家)

子ども読書活動交流集会 (13:30~15:30) <要事前申込・先着順>

◆報告と交流 [定員100]

「学校図書館のいま～法改正はしたけれど～」水越規容子氏 (学校図書館を考える全国連絡会代表)

◆わらべうた講座 [定員30]

「心をつなぐわらべうた」 落合美知子氏 (児童文学研究者)

◆科学読み物講座 [定員30]

「科学の本ってこんなに面白い！～おはなし会をもっと楽しくするために～」代田みち子氏 (科学読物研究会会員)

ビブリオバトル(知的書評合戦) (14:00~15:45) (中学生・高校生参加) [定員700] <申込不要・当日先着順>

大学・高校・公共図書館部会による展示など (10:00~16:00) <ご自由にご覧いただけます>

10月18日  
申込受付開始

※詳細は、チラシや埼玉県立図書館のウェブサイト等でご案内します。

<お問い合わせ> 埼玉県立熊谷図書館「つどい」係 〒360-0014 熊谷市箱田 5-6-1  
電話: 048-523-6291

子ども読書支援情報誌

携帯用QRコード



# Shien 第22号

こどもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)する  
そんな大きな願いをもったやさやかな情報誌です。

平成28年9月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

## 赤ちゃんへの読み聞かせで思うこと



すばる書房の雑誌「月刊絵本」(1974/10号)に「私の作った赤ちゃん絵本」という特集があり、松谷みよ子、瀬名恵子、若山憲の初めての赤ちゃん絵本作りの経過が掲載されていた。みな若いママパパで、我が子を観察したり、ゲラを読んで反応を確かめたり、手探りだったという。親子で作り上げていった、ということに、赤ちゃん絵本の原点を見たような気がした。まだ赤ちゃん絵本がほとんどない時代だった。

今では赤ちゃん絵本は溢れ、赤ちゃんのための絵本の会も開かれるようになった。赤ちゃんは絵よりも言葉、そして人に興味を持つようだ。絵本よりも読み手の顔をよく見る。読み手は、赤ちゃんを見ながら、語りかけるように読む。そこが3歳以上の子への読み聞かせと違うところ。集団での読み聞かせでは、赤ちゃんが集中できないのは当然。だからお母さんと一緒に楽しんでもらいたい。お母さんも大事な聞き手。それでも、赤ちゃんの手応えをしっかりと感じることもある。『にんじん』(瀬名恵子作)を読んだ時のこと、「ああおいしい」という繰り返しのところだけ、弾けるような笑顔になった子がいた。きっといつも「おいしいね」と声掛けしてもらっているのだろう。『じゃあじゃあ びりびり』(まついのりこ作)で、「にゃんにゃん」といった瞬間顔を上げて不思議そうに見た子、後で聞くと猫を飼っているという。絵本が赤ちゃんの心に触れたような気がした。そんな小さなことが嬉しくて、読み聞かせをしているような気がする。

五十嵐静江 (元草加市立図書館)

Shienくん ⑬

としょかんにある  
ぼくの大好きなえほん

ほいくえんにも  
がくとつにも

しょうがらこうの  
としょつにもあるんだ

もちろん  
ぼくのうちにもあるよ!

「ラヂとらいおん」パロコがくみん  
福栄館書店 A.Y.

## 埼玉県立図書館からのお知らせ

☆読み聞かせ・ストーリーテリング☆

### はじめての研修会やってみませんか?

【読み聞かせボランティア団体のための講師派遣】

- 対象■ 小中学校や幼稚園・地域で 活動するボランティア団体
- 内容■ 初心者向け講座(2時間程度)。絵本の持ち方、本の選び方、覚え方、語り方など。
- 講師■ 県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者がやさしくアドバイス!
- 申込み方法・期限■ 開催の1か月前までに、郵送またはメールで申込み
- 問い合わせ■ 0480(21)2659 【kuki-jido@lib.pref.saitama.jp】

編集後記

10年ぶりに子ども読書の世界に帰り、勉強の毎日です。様々な場面で時の流れを感じますが、子どもたちが本に出会う瞬間に立ち会える喜びは変わりません。(職員A)

編集発行 埼玉県立久喜図書館  
子ども読書支援センター  
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」  
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5  
TEL 0480(21)2659 (代) 彩の国  
FAX 0480(21)2791 埼玉県

## おはなし・読み聞かせ実践講座 ㉔

今回のテーマは、「昼休みのお話会」。

### ★昼休みのお話会はどんな様子?

#### ①お話を聴きにcoming子どもたちの人数、時間は変動

天気によって参加人数が変わったり、給食の終わる時間によって集まるのが早かったり遅かったりとさまざま。

その日の天候、子どもたちの気分や状態によって毎回異なりワクワクします。

#### ②お話を聴きにcoming学年がさまざま

昼休みにお話を楽しみにcoming学年は低学年が中心で、学年が上がるにつれて参加が少なくなりますが、時々中学年、高学年も少数ですが聴きにcomingれます。異なる学年が一緒にお話を聴くのもいいものです。

#### ③自分の教室とはちがひ、リラックス

お話会を行う場所は空き教室を使うことが多いです。自分の教室とは違い、また食後の時間のせい、リラックスしてお話を聴いているようです。ただ、聴いている友達の邪魔にならないことだけはお約束を。

### ★実際に行うためには...

#### ①仲間を募る

昼休みは上の①~③のように想定外のことが発生したり、対応に追われたりとお話に専念できなくなってしまう恐れがあります。一人よりも複数人数いると気持ちに余裕が出ます。

#### ②場所の確保

たとえ昼休みの短い時間でも施設をお借りしますので、校長先生など施設管理責任者の方と時間、場所等の御相談を。

#### ③読みの練習を

事前に読み合わせをお勧めします。読み手でペアを組む相手と作品の内容と時間、冊数を検討します。上の①のように途中から参加することもありますが、短めのお話、長めのお話を組み合わせ、途中から参加しても1冊お話が聴けたという満足感を残してあげられるとよいと思います。そして、読み手は10回以上、大きな声で、(できたら)作品の情景を思い浮かべながら読みの練習を。自分の声に自信を持って、人前で堂々と読めるようになります。

井上由香(白岡市立篠津小学校 お話ボランティア「おはなしのつみき」)

### ★おすすめの絵本

- 自分が読みたい本
- 図書館のリストの本 (迷ったら参考に)
- 大型絵本 (時々やると盛り上がりやすい)
- なぞなぞなど遊び心のあふれる本 (時間の調整に)



# 草加市「ともだち文庫」

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介②

絵本の「ちから」がひきだすこどもの「ちから」

「ともだち文庫」は昭和56年、草加市立中央公民館の「手作り絵本の講座」に参加したお母さんたちの、「こどもに良い本を与えたい」との強い思いから始まりました。

発足当時、中央公民館図書室の運営・管理から始まった活動も現在では多岐に渡り、平成12年度からは乳幼児親子とわらべうたや絵本を楽しむ「おはなしのへや」を始めました。昨年度からは「にじいろタイム」と名称を変え、月1回公民館との共催事業として開催しています。

20組前後の親子が参加し、絵本やわらべうた、リズムあそびを楽しんでいます。絵本の読み聞かせでは、文庫スタッフが絵本を手にこどもたちの前に立つと、多少騒がしくてもみな一斉に目を向けてくれます。この瞬間、こどもたちの中に、なにか「目に見えないスイッチ」が入るような感覚をいつも感じます。中には「うちでは全然絵本に興味を持ってくれないのに…」と、ふだんと違うわが子の様子に目を細めるお母さんもいます。時にこどもは、家で一人で読んでもらうより、大勢の同世代のこどもたちの中で絵本の楽しさに目覚めることもあります。そんな、こどもたちの目に見えない「ちから」と絵本の持つ「ちから」に毎回感動しています。

また、初妊婦さんを対象としたマタニティサロン「だっこまま」では、赤ちゃんが生まれる前から絵本の楽しさを実感してもらおうと、絵本の読み聞かせや赤ちゃん絵本の紹介も行っています（胎教にも良い!）。

今後も幅広い世代に絵本の楽しさを発信する活動を展開して行きたいと思っています。

山本多美子（草加市「ともだち文庫」代表）



# 使えるブックリスト

ブックリスト担当から



学年別の「季節ごとのおすすめ読み聞かせリスト」。今回は小学校高学年と中学生向けの春のリストを書きました。高学年向きは15分、中学生向きは10分のプログラムとなっています。

自分を深く  
見つけたあとは、  
ちいさいの  
におきい世界を  
感じてください。

高学年

- 『あたらしいぼく』（シャーロット・ゾロトウ文／みらいなな訳／エリック・ブレグヴァド絵／童話屋）
- 『ちいさなちいさな めにみえないびせいぶつのかい』（ニコラ・デイビス文／越智典子訳／エミリー・サットン絵／ゴブリン書房）

- 『おじいさんの旅』（アレン・セイ作／ほるぷ出版）
- 『木（こどものとも傑作集）』（木島始文／佐藤忠良画／福音館書店）

中学生

きっと  
誰もがもつ、  
『郷愁』の心を  
描いています。

高学年の『あたらしいぼく』は、中1にもおすすめです！  
今回で春のリストは終わりますが、現在、夏のリスト作りが  
進行中です。お楽しみに！

全リストはココから [web トップブックリスト](#) 二橋（子ども読書支援ボランティア）

インターネット情報からの情報収集担当から

## 知っ得情報！

\*\* おすすめウェブサイトの紹介 \*\*

今回はヤングアダルト（YA）に関するサイトを紹介します。「ヤングアダルト」とは、アメリカで13歳から19歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。（ヤングアダルト出版会ウェブサイトより抜粋）

### ☑ 広島県立図書館 青少年のページ

<http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>

青少年のページとしてリニューアルされて、「悩みサポート」「進路・就職情報」の本の紹介や県内の高校の紹介の他、広島県立図書館「図書部!!」などユニークな活動についても掲載されています。

### ☑ YA! YA! YA! べんりやん図書

<http://www.library.pref.osaka.jp/>

大阪府立中央図書館のウェブサイト。「初めての図書館」で図書館とネットの違いを比較して、図書館の利用メリットや利用方法を紹介しています。

### ☑ 福生市立図書館ヤングアダルトページ

<http://www.lib.fussa.tokyo.jp/>

東京都福生市立図書館のホームページ。市内の中学生・高校生が作った「いろは新聞」が掲載されています。中高生たちがおすすめの本や漫画が載っています。

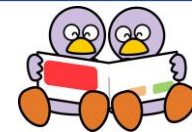
この他にも色々な公立図書館にヤングアダルトのページがあり、それぞれ様々な方法で中高生に読書の魅力を紹介しています。

坂本（子ども読書支援ボランティア）

## Nice to meet you! 子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のウェブサイト  
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>  
「子ども読書支援サービス」のページ

埼玉県のマスコットコバトン



このコーナーでは、私たち3グループの活動の一端を

## きいぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から



今回は、「託児サービスを行う図書館」の関連記事を御紹介します。キーワードは「子育て支援」です。

「託児図書館」ゆっくり読書 読み聞かせなど 子育て支援なども  
(読売新聞 朝刊 2016年3月3日 19面)

子ども図書館 より気軽に 東京・上野 くつろぎ空間新設  
(朝日新聞 朝刊 2016年5月28日 32面)

上野公園内にある「国際子ども図書館」が、今春4年がかりのリニューアルを終えました。乳幼児と保護者らが靴を脱いで本を読めるくつろげるスペースや、お弁当などを持ち込める休憩所なども整備しました。同館は気軽な利用を呼びかけています。

図書館で託児サービス 県内初、毎週金曜日に 東松山  
(埼玉新聞 朝刊 2016年6月9日 12面)

東松山市立図書館が、新たに週1回の託児サービスを始めました。また、図書館内に子育て支援コーナーが設置されました。中村教育長は「日頃子育てに追われているお父さん、お母さん方に、お子さんと一緒に気兼ねなく図書館を利用いただき、日常の子育ての中で図書館を役立てていただければ」と話しています。

県立久喜図書館「子ども図書室」は、小さなお子様連れでも気兼ねなく利用できる時間と場所を用意して、みなさまをお待ちしております。館内でベビーカーを使用できます。ぜひいらしてください。

井上（子ども読書支援ボランティア）

記事の原本は、  
県立久喜図書館  
の子ども図書室  
で見られます！  
子ども読書関連  
新聞記事は、『埼  
玉県立図書館ウ  
ェブサイト』に  
掲載中！